

湖北広域行政事務センター

新斎場整備運営事業



基礎^{くたい}躯体工事が始まりました

基礎躯体工事とは？

基礎杭を打設した後に、杭の上部に鉄筋を配置し、コンクリートを打設する工事のことです。基礎は建物にかかる力を地盤に伝える役割を担います。

【基礎の種類】

独立フーチング基礎

主要な柱の底部に、それぞれ独立した基礎で支える基礎のことです。フーチング(基礎底板)が独立していることから、『独立フーチング基礎』と言います。

今回の工事は、地表近くの地盤が軟弱なため、基礎杭を通じて、地中約30mにある支持地盤に、建物の荷重を伝えます。

基礎躯体工事状況



【基礎躯体の量】

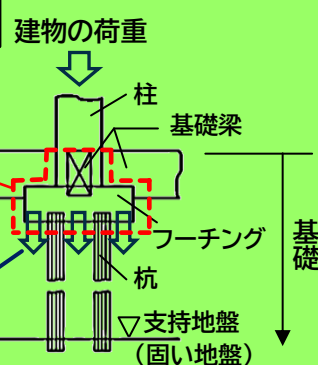
今回の工事では、約2,000m³(立方メートル)の基礎コンクリートを打設します。

身近なもので例えると、小学校のプール(長さ25m×幅12m(6レーン分)×深さ1.2m)に、約360m³の水が入りますので、約5.6個分の量になります。

【構造のイメージ図】

基礎躯体部

杭を通じ、支持地盤に伝えます



基礎躯体工事が完了すると、工事全体の約20%が完了します